

ウェブサイトを働かせるための5つの基本

まず達成しておかなければウェブサイトが機能しない「基本中の基本」とは？

基本1. 目的、ターゲットの明確化

『サイトの目的は？ 見せたい相手は？』 → 全てはここからスタート

基本2. 検索エンジン対策 …………… 店舗に例えるなら【集客】

『ただ待っているだけでは顧客は来ない』

サイトの数は、現在4億ページともいわれる。

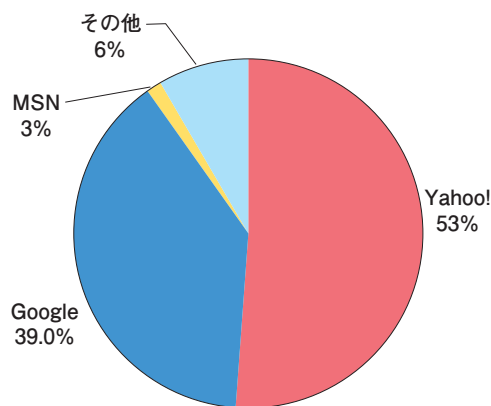
このため、利用者の9割が目的情報の収集に検索エンジンを利用。

検索エンジン経由の訪問者はモチベーションが高く、成約率・購買率が非常に高いといわれる。

ただし、彼らの参照する検索結果は上位20～30位まで。

潜在顧客の獲得には、必ず検索結果に上位表示される必要がある

日本の検索エンジンシェア (検索表示結果のPV)



Source: Nielsen Online NetView 2008年10月

※2010年7月27日、日本での検索事業において Yahoo!JAPAN と米 Google が Google のシステムを使うことで提携。
この結果、ウェブ・画像・動画・モバイルの検索エンジン対策は、Google が唯一最大のターゲットとなった。

基本3. 上質なデザインで公開 …………… 店舗に例えるなら【店構え】

『ウェブサイトデザイン=商品パッケージ』

読者から最も容易に判断されるのが、デザインの「質」。
サイト利用者は目が肥えており、「アマチュアデザイン」では、運営組織のレベル、サービス／商品／情報の程度も同等と判断されかねない

基本4. 使いやすく・わかりやすい …… 店舗に例えるなら【売場案内、棚陳列】

『読者はストレスを非常に嫌う』

サイト利用者は非常にわがまま。使いにくい、わかりにくいサイトからはすぐに立ち去り、二度とやってこない。

基本5. コンテンツの充実、優位性の訴求 …… 店舗に例えるなら【品揃え】

『当然ながらコンテンツが最重要』

コンテンツを読んでもらうために、基本2～4がある。
ターゲット読者が求める情報の充実。自社サービス、商品の優位性の訴求。



基本1～5の達成後にアクセス解析等のマーケティング実施